

令和6年度第2回諫早市健康福祉審議会

1 期 日 令和7年1月30日（木）午後7時～午後7時50分

2 場 所 諫早市役所 5階 大会議室

3 出席者 委員 17名

犬尾 元委員

浦 泰委員

小川政古委員

小野由利子委員

草野洋介委員

酒井一男委員

出口晴彦委員

寺井雄一委員

中尾理恵子委員

中野伸彦委員

西野 悟委員

西村久美子委員

野中伸子委員

福田富美子委員

堀 剛委員

水田明光委員

森 淳子委員

欠席者 委員 3名

平田昭輔委員

松藤久傳委員

満岡 渉委員

事務局 14名

4 会議次第

開会

議事

（1）議事録署名人指名

（2）第3期諫早市子ども・子育て支援事業計画（案）について

その他

閉会

## 【健康福祉審議会】

### 1 開会

#### ○事務局

それでは、ただいまより令和6年度第2回諫早市健康福祉審議会を開会いたします。

本日は、委員20名のうち17名の出席となっております。諫早市健康福祉審議会条例第7条第2項の規定により、委員の過半数の出席が認められますので、本会議が成立することを御報告いたします。

では、議事に移りたいと思いますが、ここからは寺井会長に進行をお願いします。

なお、これより、議事録作成の都合上、録音をさせていただきますことを御了承いただきたいと思います。

それでは、会長お願いいたします。

#### ○会長

皆さん、改めましてこんばんは。寒い中、足を運んでいただきましてありがとうございます。また、関係部局におかれましては、時間外にもかかわらず、多くの職員の方が出席をされております。本当にありがとうございます。

さて、1月もうすぐ終わりますが、去年は元日の能登の大震災からばたばた豪雨を含めて災難という感じがします。また、今年は阪神・淡路大震災から30年ということで、1月の初めのほうはそれに関わる記事や映像が多く流れておりました。仮設住宅の様子を見てみると、本当にやっぱり生きていくために「衣食住」、これが基本だなと感じました。特に、健康という面で言うと、「衣」は健康の維持、「食」は健康な生活、「住」は安心安全のための居場所ということで家になります。

「衣食住」の後に続くものとして「遊休美知」というものがあります。「遊」は遊ぶ、「休」は休む、「美」は美しいものに憧れる、それから「知」は学ぶ、教育も含めてだと思おうのですが、これは本当に健康の心と体のバランスを示しているのではないかなと思います。これから健康のことを考えるには、本当に総合的に考えていかないといけないなと思っております。

本日は、子ども・子育てに関する審議をしていただくわけですが、私は常々、子どもを大切にしない国は未来がないと思っているんですけども、今日の新聞の記事を見ると、小学校・中学校・高校で527名の子どもが自殺で亡くなったと。非常に嘆かわしいというか、いろいろな事情があるにしても、これだけの子どもたちが亡くなるというのは、今の日本も危ういという感じがしないでもありません。

部会のほうでは非常に熱心に討議が進められたと担当から聞きました。よろ

しく審議を賜りながら、いいものを次の計画として打ち出したいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

## 2 議事

### (1) 議事録署名人指名

#### ○会長

それでは、議事に入ります。

議事の1番目、議事録署名人を指名したいと思います。小野由利子委員にお願いしたいと思いますですが、よろしいでしょうか。

《小野委員了》

#### ○会長

いつもお願いばかりで。よろしくお願いします。

### (2) 第3期諫早市子ども・子育て支援事業計画（案）について

#### ○会長

次に、議事の2番目、第3期諫早市子ども・子育て支援事業計画（案）についてを議題とします。

本計画は、令和5年5月に市長から諮問を受け、子ども・子育て部会に審議をお願いしておりました。

それでは、中野部会長様から御報告をお願いいたします。

#### ○部会長

子ども・子育て部会長の中野でございます。

本日の中身ですが、令和5年5月18日の健康福祉審議会におきまして、市長から諮問されました第3期諫早市子ども・子育て支援事業計画の策定につきまして、子ども・子育て部会において案を取りまとめましたので、資料提出とともに、部会における審議経過等を御報告します。

まず、諫早市子ども・子育て支援事業計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づき策定する5年を1期とする計画で、第1期計画が令和2年度から令和6年度までとなっており、今年度末で期間の満了を迎えるため、次の5年間、令和7年から令和11年度までを計画期間とする第3期計画を定めるものでございます。

部会につきましては、令和5年度に11月と3月の2回、令和6年度に8月、11月、1月の3回にわたって開催し、審議を重ねてまいりました。

計画案の具体的な内容につきましては、事務局から補足して説明をいたしますので、よろしくお願いいたします。

#### ○こども政策課長

こども政策課の皆良田と申します。よろしくお願いいたします。

ただいま中野部会長から第3期諫早市子ども・子育て支援事業計画（案）に

つきまして、子ども・子育て部会における経過等の説明がございましたが、私からは計画の詳細について御説明申し上げます。

資料につきましては、お配りしております議事資料 1－1、第 3 期諫早市子ども・子育て支援事業計画（案）概要、A 3 横の 2 枚の資料になります。それと、議事資料 1－2 の計画案、A 4 縦のページ数が 102 ページの厚い資料になります。この二つで説明をさせていただきます。

まずは、議事資料 1－2、A 4 縦のほうの 1 ページ目をお開きください。

まず、第 1 章、計画の策定に当たっての 1、計画策定の背景と趣旨でございますが、質の高い幼児教育・保育事業を過不足なく提供するとともに、各種子育て支援事業を一層促進させることを目指しまして、令和 2 年度に第 2 期諫早市子ども・子育て支援事業計画を策定し、子どもや子育て支援のための取組を進めてきました。

このたび、令和 6 年度に計画期間満了となることから、社会状況及び本市の子ども・子育て世帯の状況を十分に踏まえ、子育て支援のさらなる充実を目指し、新たに第 3 期諫早市子ども・子育て支援事業計画を策定するものでございます。

2 の計画の位置づけでございますが、本計画は、子ども・子育て支援法に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画であり、本市の子育て支援の総合的な計画となります。市町村に計画策定が義務づけられており、次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画と一体的に整備するものでございます。

2 ページ目を御覧ください。

3、計画期間でございますが、令和 7 年度から令和 11 年度の 5 か年を計画期間としております。

続きまして、36 ページをお開きください。

36 ページでは、第 3 章、基本理念及び基本目標でございます。

1、基本理念といたしまして、平成 27 年度から施行された子ども・子育て支援新制度では、全ての子どもや子育て家庭を対象とし、一人一人の子どもの健やかな育ちを等しく保障できる社会として、子供の最善の利益が実現される社会を目指すことを目的としており、国におきまして、こども大綱及びこどもまんなか実行計画が策定されたことから、それらを十分踏まえて計画を推進してまいります。

この目的の達成のため、第 2 期計画の理念を受け継ぎ、第 3 期計画におきましても、本計画における基本理念を「健やかな子どもを育む『子育て・子育て応援のまち』いさはや」と定めております。

次に、2、基本目標では、基本理念を実現するため、三つの基本目標といたしまして、「健やかな子どもに育つ子育てを支えるまちづくり（子どもへの視

点)」、「安心して産み育てることができるまちづくり(家庭(親)への視点)」、「地域社会で子育てを支えるまちづくり(社会の視点)」となります。

37ページをお開きください。

3、施策と体系でございます。

基本施策につきましては、資料掲載の五つの項目について取り組んでまいります。

基本施策の取組内容ですが、施策体系図につきましては、もう一つの資料、議事資料1-1、計画概要A3横の2枚目になります。ページ数では3ページになります。3ページ目に記載をしておりますので、説明につきましては割愛をさせていただき、後ほど御覧いただければと思います。

次に、資料1-2に戻っていただきまして、40ページをお開きください。

40ページと41ページ、第4章、施策の展開の(2)地域子ども・子育て支援事業、これは市町村が地域の実情に応じ、計画に従って実施する事業となります。

現計画からの主な変更点でございますが、児童福祉法及び子ども・子育て支援法の改正によりまして、既存の地域子ども・子育て支援事業13事業が新たに今回五つの事業を追加をしております。

41ページ、表の下から五つの事業となります。

法改正による追加の5事業といたしまして、「子育て世帯訪問支援事業」は妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の訪問支援、「児童育成支援拠点事業」は家庭や学校に居場所がないと感じる子どもへの支援、「妊婦等包括相談支援事業」は妊婦等へ母子保健、子育てに関する情報提供や相談の援助、「乳児等通園支援事業」——よく誰でも通園制度と呼ばれているものです。これは保育所等に通っていない児童を対象とし、親の就労要件を問わず利用できる新たな通園制度になります。「産後ケア事業」は、母子の心身のケア、授乳指導・育児指導などを実施するものでございます。

ほかに、第2期計画から新たに第3期計画に盛り込んだ取組といたしましては、資料は戻って39ページをお開きください。

39ページに掲げております分につきましては、パブリックコメントなどの御意見として追加したものが、下の表の下から三つの取組となります。

保育人材確保の取組といたしまして、全国的に保育士不足は深刻な課題であります。処遇改善や職場環境づくりの支援などの政策的な取組と併せて、中高生に対する保育の魅力、イメージ向上への取組や、保育士の資格を持ちながら保育士として就業していない潜在保育士に着目した支援などを行う人材確保に努めてまいります。

次の人口減少地域等における保育所等の在り方の取組といたしましては、過

疎地域に指定されている小長井地域の保育施設につきまして、他の市内地域と比べて少子化が著しく進行していることから、持続可能な保育提供体制づくりに努めるものであります。

次の教育・保育施設の整備の取組といたしましては、老朽化等により施設の建て替え、改修等を実施または支援し、保育環境の充実に努めるものでございます。

次に、４４ページをお開きください。

４４ページでは、（３）学童期・思春期・青年期への支援として、次の４５ページの取組の表の一番下の取組といたしまして、子ども向けアンケートの実施により子どもの意見を反映させるため、子どもの居場所の確保について追加を致しまして、総合的な放課後対策の推進に努めるものでございます。

次に、６５ページをお願いいたします。

６５ページから７０ページにつきましては、第５章、子ども・子育て支援事業計画への３、教育・保育施設の充実にいたしまして、（２）の教育・保育施設の事業計画を掲載しております。

教育・保育事業といたしましては、市内四つの区域のうち、中央部、西部、南部の３区域においては、分譲住宅やマンション建設、大型商業施設の進出等により保育ニーズが高まる傾向にあることから、保育の受皿を確保するために、既存施設の定員増あるいは定員増で受皿の確保ができないときは、新設保育所を設置することで確保対策を進めてまいります。

次に、７１ページをお開きください。

７１ページから９５ページまでは、４、地域子ども・子育て支援事業の充実に掲載しております。

時間の都合上、法改正による新規事業から二つ抽出して御説明いたします。

９１ページをお開きください。

９１ページの（１４）、子育て世帯訪問支援事業の確保の方策といたしまして、幅広い子育て世帯を対象として、ヤングケアラー等養育環境が深刻な状況となる前に、児童が育つ家庭環境に係る支援を提供するとともに、子育て世帯の養育環境等を把握し、支援の必要性が高いものを適切な支援につなげてまいります。

次に、９５ページをお願いいたします。

９５ページの（１８）産後ケア事業の確保の方策といたしまして、退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を図ってまいります。

次に、９９ページをお願いいたします。

９９ページでは、第６章、計画の推進体制といたしまして、２の計画の達成

状況の点検・評価でございますが、計画目標を基に、毎年の進捗状況を庁内で点検するとともに、子ども・子育て部会において進捗を報告し、協議しながら分析評価を行い、必要に応じ、見直しを図ることとしております。

以上、簡単ではございますが、第3期諫早市子ども・子育て支援事業計画（案）の概要についての説明となります。

#### ○会長

それでは、今、報告と併せて説明がありましたが、計画全体について御質問などありませんでしょうか。

どうぞ。

#### ○A委員

今、説明をもらったところで、全体的に非常に細かくよく見てある各項目になっているかなと思うんですが、45ページに、子どもの居場所の確保というのが追加項目で掲げてあって、追加というのは説明の中でありましたけれども、この中で「また」以降に、「全ての子どもが放課後を中心に」と、放課後を安心安全に過ごすというふうな表現があって、その次の行に「総合的な方法・対策の推進に努めます」となっているんですけれども、何か表題の居場所の確保と放課後の対策というようなことで、ちょっと整合性がどうかなと少し感じたのと、放課後対策だけでいいのかなと。例えば土曜日とか日曜日とか、その他の子どもの居場所の確保ということを考えたら、そういうことも少し考慮したほうがいいのかなと。

これは今言っているのかなとも思うのですが、いかがでしょうか……。

#### ○会長

修正してはどうかとの捉え方でよろしいですか。

#### ○A委員

だから、そういう面を考慮した協議事項になれば、今、放課後を中心に安心安全の子どもの居場所づくりというようなことで書かれておるんですけれども、やっぱり放課後だけじゃなくて、例えば、土曜とか日曜日とか祝日とか、そういう際の子どもの遊び場の確保というふうなことも何かあったほうがいいのかなと思いますので、事務局のほうでちょっと検討、何か御意見があれば。

#### ○会長

事務局のほうから求めたいと思います。

#### ○こども政策課長

こども政策課の皆良田です。ありがとうございます。

確かに、今、A委員がおっしゃったように、居場所については、放課後対策だけではないということで、確かにそのように思っております。

今、この取組の具体的な内容のところが放課後に限定したような書きぶりに

しておりますものですから、ここの部分については修正をさせていただきたいと思っております。

ここの内容のところで5行ありますけれども、2行目に「放課後や休日の児童が安心できる居場所を」ということで、放課後だけでなく休日のことも書いておりますので、この下2行のほうの、「また、全ての子どもが放課後を」と、ここが放課後限定になっておりますものですから、この放課後の部分を削除させていただきまして「また、全ての子どもが安心安全に過ごし、多様な体験活動を行うことができる総合的な放課後対策」ということで、ここもちょっと放課後に限定をしておりますものですから、ここも削除させていただきまして、「多様な体験活動を行うことができる居場所づくりの推進に努めます」とか、そういった部分で修正をさせていただければと思います。よろしく願います。

#### ○会長

今、一応こういうふうに修正したいということでありましたけれども、「また、全ての子どもが安心安全に過ごし、多様な体験活動を行うことができる居場所づくりの推進に努めます」という事務局からの提案ですけれども、よろしいでしょうか。どうでしょうか。

もし特に異議がなければ修正ということでした承したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○会長

ということで、よろしくお願いします。

ほかにありませんでしょうか。

#### ○B委員

質問です。ちょっと細かいところですが、先ほどちょっと説明がありました91ページの子育て世帯訪問支援事業のニーズ量の計ですけれども、世帯数ではなくて、人数ということになるのでしょうか。この説明文を見ると、対象が世帯という表現があって、人数のところには人とあったので、そこの確認させていただければと思います。

#### ○会長

よろしいでしょうか。対象の捉え方ということですが。

#### ○子育て支援課長

子育て支援課長の川原と申します。よろしくお願いいたします。

ただいまの御質問ですけれども、その単位は世帯数ではなく、それに日数とか回数を掛け合わせた延べの回数ということでございまして、世帯数でいきますと約40世帯分を一応想定をしているところでございます。

○会長

今の答弁でよろしいでしょうか。

○B委員

そうすると、算出方法の中で、見込まれる世帯数の割合のその世帯は、人というのは、その子どもが1という計算になるんですか。すいません、ちょっとそこがよく分からなくて。

○子育て支援課長

そうですね、対象の40世帯の方が年間に何回、1回ではないので何回か利用して、その回数を掛け合わせた延べの利用回数といいたいでしょうか。40世帯の方が使われる延べ日数、回数ということになります。

○B委員

そうすると、その世帯には、親子あるいはきょうだいというのがあるんですが、それが1人というような整理でよろしいでしょうか。

○子育て支援課長

そのとおりでございます。すいません、失礼しました。

○会長

よろしいでしょうか。

ほかにありませんでしょうか。

どうぞ。

○C委員

45ページに、飲酒・喫煙・薬物乱用の危険性について啓発強化とあるんですけれども、これを言い出すとすごく修正がかかってくるのでいろいろ言いたいんですが、今、この辺に関して話題になるのはオーバードーズなんですね。一般医薬品の過剰摂取、これは我々でも食い止めようがないので、やっぱりまちぐるみでの啓発なんかも必要だと思っています。

子どもたちの理解が深まらないと安易に手を出しやすい場所になってくるので、もしこの冊子の中にそういった、オーバードーズとまでは言わないんですけれども、薬物乱用に関する部分が少しでも言及されている場所を見つけられなかったのが今質問しているんですけれども、もうちょっと何かそういうところにフォーカスしていいのかなと。

今、都会のほうにはなるんですが、鎮静剤、鎮痛剤等を過剰摂取して酩酊状態になってしまったりとか、いろいろ被害が出ているので、そういったところもこういう冊子の中に一つ、もし加えられる範囲があれば加えていただければなと思います。

○会長

よろしいでしょうか。

今、大幅に修正をしてほしいということではないんだけどもと言われましたので、合わせる必要はないんですが、個人的課題としてオーバードーズなんかの問題があるよということも加えたらどうかということだと思うんですけれども。

○すくすく広場所長

すくすく広場の大久保です。よろしくお願いいたします。

ただいまの意見に対してですが、薬物乱用のところにオーバードーズというのがかかってくるかなと思うので、その表現として、「オーバードーズを含む」薬物乱用等の危険性の啓発というような表現はいかがでしょうかということで提案させていただきます。

○C委員

そうですね、まずはそこぐらいから始めていいと思います。

○会長

よろしいでしょうか。

どうなんでしょうね、学校で薬物乱用教室、中学校についてはやってあるんですが、例えば薬剤師さんとか、そういうところに依頼とか、そういったものはどうなんでしょうね、現役を離れたのでよく分からないのですが。

○C委員

全小学校高学年を中心に、薬剤師がやっている学校がほとんどですよ。小・中・高でやっています。

○すくすく広場所長

薬剤師会とライオンズの会ですね。

○C委員

ライオンズの方ですね。

○会長

薬剤師とライオンズはとらえ方が違うので、やっぱり薬剤師さんに来てほしいということ、今言われたようにこれを専門にしている、内容にしてほしいということと、薬剤師さんのほうにばかりに依頼が行くと大変ですけども。

○C委員

一応、学校薬剤師の業務の一つが薬物乱用防止なのです。

○会長

ほかにございませんでしょうか。

○A委員

2点よろしいですか。

特にこれを見てからどうこうというわけではなくて、保育所の充実というか、職員スタッフの方の充実みたいなことが書いてあるページがあったんですよ。

○こども政策課長

３９ページでしょうか。

○Ａ委員

３９ページの表の真ん中辺りに、保育士人材の確保という項目があって、保育士の処遇改善とか環境の改善等をしていきますとなっているんですが、お尋ねしたいのは——ただのお尋ねですよ、修正とか何とかじゃなくて。今日、出てくる前にテレビを見ていたら、保育所ではなかったんですが、保育士も含めた高齢者施設の介護職員あたりの研修会をやるんですよというふうなことがありました。こういう保育士人材の確保という意味で、特に若年の保育士を確保する際に、研修というのは各施設にお任せなのか、それとも行政のほうで、市とか県でも新人に対して研修を実施されているのかを教えてください。

○会長

よろしいですか。

○こども政策課長

こども政策課の皆良田です。ありがとうございます。

保育士さんの研修ということですが、今日もお見えですが、諫早市保育会さんでもいろいろな研修をなさっていらっしゃいますし、諫早市といたしましても昨年度から、「保育士わくわくサポート事業」という市単独の事業を立ち上げまして、既存の保育士さんたちの質の向上を図るということ、それと、新たな保育士の確保の対策をやっています。

保育士の質の向上につきましては、今の現場を一旦離れて、新しい子どもの接し方とか新しい遊びを発見していただく。子どもへの対応を発見していただくということで、こどもの城に研修に行って、新たな子どもの接し方や遊び方を学んでもらうとか、こどもの城のスタッフが保育所へ出前講座ということで出向き、新たな子どもの遊びとの関係とか、子どもの接し方を学んでいただくとか、あと、保育士さんはいろいろな悩みを抱えていらっしゃいますので、そういった相談をこどもの城の経験豊富なスタッフ—以前のこどもの城の館長、ですが、相談を受けるなどいろいろな取組をやっております。跳び箱や体操、ギターを弾いて音楽などに触れていただいて、通常の業務と違うようなところを見ていただいて質の向上を図っていただくという目的を持って、事業に取り組んでいるところでございます。

○会長

よろしいですか。

○Ｄ委員

現場からもよろしいでしょうか。ありがとうございます。

保育人材確保では、市内で五十数か園ございますけども、非常に厳しい状況

でございます。人材確保ということで、保育士を養成する学校に出向きまして、合同での面談会をですね、これは諫早市の後援をいただきながら開催をしています。あとはバスツアーということで学生さんに実際に保育園まで来ていただいて、保育現場のすばらしさといいますか、そういったことを体験していただくような事業も諫早市の後援をいただきながらやっているところでございます。

あと、職場、働く環境の改善ということで、これも保育協会、県の協会等がずっと職場の改善の事例等を紹介しながら、施設側の職場改善ということにも併せて努めて、早期離職の防止とか、そういったことに力を入れるような状況でございます。

### ○A委員

それぞれ保育協会のほうからも市のほうからも、そういう研修とか相談業務など力を入れておられるということでよかったと思います。

もう一点、これもお尋ねになるんですけれども、先ほどちらと出ましたが、三、四年前から、特に都市部を中心に待機児童の話がよくあったんですけれども、諫早市の場合はほとんど待機児童が解消されたとあったので、定数の枠の拡大とかいろいろあって、今はほとんどおられないと考えてよろしいでしょうか。

### ○こども政策課長

諫早市の待機児童といたしましてはゼロ人ということではございますけれども、潜在的待機児童といまして、ここの保育所に行きたいということで、ここしか行かない人は。第1希望から第3希望までされるわけですが、どうしても希望が多い園がございまして、諫早市全体で見ますと入れる保育所はあるのですが、どうしてもここに行きたいということで限定されますと、潜在的待機児童ということで、令和6年度は29名の方がいらっしゃるということです。通常の待機児童としてはゼロ人でございます。

### ○会長

よろしいでしょうか。

やっぱり人材の確保というのは、どの団体も同じでなかなか人が集まらないというのはあるし、長続きしないというのも一つあるのかなと。研修する前に辞めてしまう人もいたり、昔は磨けば光ったけれども、今は磨けばぼろぼろになってしまう、若い方におられますね。

去年、私の小学2年生の孫のクラス担任が4か月で辞めるというような状況もありました。そういう話をしていたら、いやいや雲仙では2週間で辞めた教諭もおるというような、要するに長続きしないというか。多分、市の職員も同じじゃないかと思うんですが、そんなことないでしょうか。

非常に人材確保というのは、今から先の問題かなと。特に控えが今は少なく

て、その間残された人間がやっていくしかないのできつい状況になる、一つの課題かなと思います。

ほかにございませんか。

基本的に、この計画は法の改正によるものを調整したもの、それから、時代的な情勢に少しでも合うようにということで、今後の5年間を見越してつくられたものだと理解をしておりますが、基本的には部会のほうでもんでいただいたので、気になるところは一応ここを出して、調整がつくものについては調整をしていただく形になろうかと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

特にないようでしたら、以上をもって質疑を終わりたいと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○会長

それでは、本案について承認したいと思いますが、御異議ないでしょうか。承認をお願いいたします。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○会長

特に異議なしとのことで、承認することとしたいと思います。

今度、市長へ部会長様と一緒に答申をしたいと思っておりますけれども、その場合に、もし文言の修正等が出てきた場合には私にらせていただければありがたいと思います。もう一回集まってというのは時間的にも難しいかと思っておりますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○会長

よろしくお願いしたいと思います。

それでは、最終確認ですが、第3期諫早市子ども・子育て支援事業計画案を承認することといたします。

以上で審議を終了いたしました。本件につきまして、先ほど話をしましたが、来週だったですかね、市長さんへの答申をしたいと思っておりますので、関係される方についてはよろしくお願いをしたいと思います。

### 3 その他

#### ○会長

それでは、その他について、事務局から何かございますか。

#### ○事務局

御意見をたくさんいただきまして、どうもありがとうございます。

本日取りまとめていただきました第3期諫早市子ども・子育て支援事業計画につきましては、来週2月3日月曜日に、中野部会長同席の下、会長から市長

へ答申いただく予定としております。よろしくお願いします。

今日はこれで審議会を終わりますけれども、次回については、日程は未定ですが、次期地域福祉計画、それから高齢者福祉計画・介護保険事業計画の二つの計画の策定に向けた諮問が予定されております。時期は未定ですが、夏ぐらいに開催ができるかなと思っております。早めに計画して、皆様に日程調整をお知らせしたいと思います。

以上でございます。

#### ○会長

一応、全部、本日の議案については終了いたしましたけれども、全体を通して、何か言い足りない部分とか、今思い出したというのがあればお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○会長

なければ全ての審議を終了したいと思います。

### 4 閉会

#### ○会長

ここで、こども福祉部長からの発言の申出がっておりますのでお願いします。

#### ○こども福祉部長

こども福祉部長の古賀でございます。

本日はお寒い中、お忙しい中に御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

今日は大きな区切りといたしますか、節目といたしますか、第3期の諫早市子ども・子育て支援事業計画（案）を取りまとめていただきました。本当にありがとうございます。部会長さんをはじめ、子ども・子育て部会の委員の皆様にも、これまで複数回にわたる会議への御出席、多くの御意見を賜り、厚く御礼申し上げます。

先ほどの話にありましたけれども、本日取りまとめたいただいた計画案につきましては、早速、来週、会長から市長への答申の手続を進めさせていただきたいと思っております。

また、これも先ほど連絡がありましたけれども、令和7年度から本市の健康福祉分野における総合計画であります地域福祉計画と、3年ごとに見直します高齢者福祉計画・介護保険事業計画の次期計画策定に向けた作業に着手をする予定ということで、この前作成したばかりかなという感じもするんですけれども、あっという間に3年スパンというのは来るもので、一応そういう形で予定をしておりますので、引き続き委員の皆様におかれましては御理解・御協力を

賜りますようお願いいたしまして、お礼の御挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

#### ○会長

市長がよく「来てよし、住んでよし、育ててよし」と、挨拶の最後は大体いつもこれで締めくくられるのですが、その中の「育ててよし」という部分に当たるかなと思いますので、多分市長さんも一緒に興味を持ってというか、自分の政策の一つの大きな良さだと思いますので、多分いろいろ予算もつけていただけるかなと。よろしく願いしたいと思います。

子どもたちも戦後200万人生まれた分が今やもう80万人という、ひょっとしたら、もう一回統計を取れば80万切っているんじゃないかなというような感じもしますので、今後子どもがどんなふうになるのか、ちょっとやっぱ寂しいというか、厳しい日本になりはしないかなと心配ですけれども、少しでも住みよい諫早になるよう、よろしく願いしたいと思います。

本日はお疲れさまでした。

(午後7時50分終了)